

脳神経倫理

脳科学と社会の健全な関係をめざして

佐倉 統

東京大学大学院情報学環

JST社会技術研究開発センター

(sakura@iii.u-tokyo.ac.jp)

要約(1)

- ・ 高次脳機能画像研究や脳＝機械インターフェイス(BMI)などの普及
- ・ 「誰でも脳を研究できる」ようになった
- ・ 偶発的所見の増加
- ・ 非医療系基礎研究に関する倫理体制の整備が必要

要約(2)

- ・ 脳情報の特殊性
 - 意識、自我、人格、主体性...
- ・ 一般向け通俗脳科学書の氾濫
 - 科学と社会の「はざま」をどうデザインするか？
- ・ 省庁学会横断型の対応組織と指針の整備が必要

脳神経倫理とは何か？

- ・ 2つの側面

- 脳科学の倫理

- ・ 脳神経科学のELSI

- 倫理の脳科学

- ・ 道徳観や宗教心、倫理規範などに対する脳科学的アプローチ

- ・ 脳神経科学と社会の接点領域で生じる諸問題への対処

- まだ領域が未成熟なので、ざっくりと